校長通信　調和

発行
校長　寺島克彦
〒384-0023
小諸市東雲4-1-1
TEL　0267-22-0216

題字　渡邉虚舟

がんばっていますか！

学校の桜はそろそろ満開。皆さんが登校できるまで咲いていてほしいのですが。

さて、学習課題もしっかり届いているはず。小諸高校生はきっと自分の目標に向けて頑張ってくれていることと思います。

とは言っても努力が苦手な人も多いと思います。そこで、「努力が苦手な人が、努力をする方法」昨年度末の校長通信で紹介した日本の脳科学者、中野信子氏の著書『あなたの脳のしつけ方』のからその方法を二つ紹介します。

その１。苦手な学習や練習の後に、具体的な“ご褒美”を用意する。３学年の学級通信にもあるように、頑張った後の「自分のやりたいこと」を用意しておくこと。また、ずっと先の将来の自分の理想の姿をしっかりとイメージすることも大切です。

その２。努力を「ゲーム化」する。勉強時間を計測して、ノートに記録する。「仲間内で競い合う」→「ソーシャルゲーム化」

どんな人でも工夫次第で、努力の“努力感”を薄めて、かわりに“楽しみ”の度合いを強くすることは可能です。ぜひ自分なりの工夫をしてみてください。

入 学 式

新型コロナウイルス感染防止対策として、新入生と保護者は各家庭 1 名、そして職員だけで行った式でしたが、代表生徒の荻原啓節さんの、力強い宣誓とともに新入生の高校生活への期待と意気込みがしっかりと感じる入学式でした。

「新入生代表宣誓」

新入生代表　荻原啓節

温かな春の光に誘われ、桜のつぼみも膨らみ始め、麗らかな空に心が弾む季節となりました。

本日は、新型コロナウイルスの影響もある中、私達新入生のために、このような式を挙行していただき、校長先生をはじめ諸先生方、並びに関係者の皆様、誠にありがとうございます。

先日、九年間の義務教育課程を終えた私たちは、この小諸高等学校に入学でき、希望と喜びの念で溢れています。

学校生活においては、これまでの経験に加え、新たにこの学校で学ぶことを通し、仲間と共に成長していきたいと思います。

また、その仲間たちとの絆を大切にし、友情を築きながら、様々な思い出を作っていきたいとも思います

そのために、先生方や先輩方のお力をお借りする場面が多々出てくると思いますが、厳しく、温かいご指導

のほど、よろしくお願い申し上げます。

本日、私たち新入生は、迎え入れて下さる学校の方々、祝福して下さる皆様に感謝の念を忘れず、有意義な高校生活を送ることを誓います。

「式辞」

校長　寺島克彦

これまでにない暖冬となったこの冬でしたが。新型コロナウイルス感染症防止のための休校の中、ひたすら自分と向き合って受験に臨んだ皆さんには、本当に厳しい冬であったことでしょう。新入生の皆さんと、皆さんを支えてくれた、ご家族、保護者の皆様方のご努力に対して敬意を表します。

改めて、新入生の皆さん、「本校への入学おめでとうございます」

充実した中学校での学校生活を過ごし、世界中が前代未聞の対応を迫られる中、受検勉強と前期・後期選抜の、大変な緊張を伴った経験を経て、ここにいる皆さんは、これまでの受験生以上に、それぞれに、大きく成長されたことと思います。

本校のスローガンは、「耀く未来　掴むのはキミだ！　小諸高校生　～伸びしろ無限大～」です。
この三月、目指す進路を叶えた皆さんの先輩を送り出し、長い休校を終えて、在校生同様に「伸びしろ無限大」の皆さんを迎えられたことは、何よりの喜びです。これから三年間、私たち教職員と共に努力して「輝く未来」を掴みましょう。

さて、これまでも、様々な場面で言われてきたことと思いますが、今年の新入生の皆さんは、二年後、三年生には、十八歳の誕生日を迎えると同時に成人となります。

これまでと大きく変わるのは、「親の同意を得なくても、自分の意思で様々な契約ができるようになる」ということ、つまり、親権、親の権限に服す必要が無くなるため、ローンを組んでの高額な買い物や進学や就職についても自分の意思で決定できるようになるということです。
これまでは、保護者の同意が必要であったことから、回避できたトラブルも自分自身が責任を負うことになるのです。

そして何より、「大人」として扱われるのです。言い方を換えれば、皆さんは二年後には大人になっていなくてはなりません。

世の中、恥ずかしながら、立派な大人ばかりではありません。でも、皆さんには理想の大人になっていただきたい。

今、私たち大人が考える、これからを生きる理想の大人は、「自ら進んで、今ある問題を発見し、その解決のための道筋を考え、設定した課題について、様々な人々とチームを組んで協力しながら、解決していく力を持った人」　「自分はこんな風に人生を生きたい、という理想と計画が描ける人」　「自分が今生きている環境を、住んでいる地域に留まらず、常に世界を意識して考える力や行動力を持った人」です。

何かとても大げさな表現のように感じるかもしれませんが、皆さんが「カッコいいなあ」と思う大人は、このような人ではないでしょうか。

（校長室前の水仙）

さて、そんな大人になるために、この小諸高校で皆さんに学んでほしいこと。

一つ目は、まず、確かな学力に繋がる、知識と教養を身に付けてください。
本校では朝読書にも取り組んでいます。授業や家庭での学習はもちろんのことですが、沢山の本を読みましょう。

二つ目。ＡＩ・人工知能に出来ないことは、「人と人を結びつけること」です。
様々な人と協働していく力を身に付けるには、生徒会活動や部活動、あるいはボランティア活動に取り組むことが一番です。そして、この協働できる力は、この高校時代に最も身に付くと言われています。

三つ目。今やるべきこと、今やらなければあなたの未来がつかめないことに、没頭してください。
どんなに才能があっても、どんなに好きなことであっても、自分のものとして将来に生かすためには、そのことに没頭する、かなりの時間が必要です。時間をかけなくては、何も身に付けることは出来ません。

確かな学力を身に付け、仲間と共に学び、今やるべき課題に没頭しましょう。そして、皆さんが描く、輝く未来を、しっかりと掴むことが出来る「大人」を目指してください。

最後になりましたが、保護者の皆様方におかれましては、義務教育を終え、一段と成長したお子様の姿をご覧になり、頼もしく感じられていることと思います。
改めて、心よりお祝い申し上げます。
本日からは私共、教職員一同も、そんなお子様の教育に力を尽くす所存でございます。

しかしながら、多感な高校生活においては、困難な課題も多く、家庭だけ、或いは学校だけでは解決できないことも様々ございます。
これから、卒業を迎えるその日まで、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、新入生の皆さんが、三年後には確実にそれぞれの夢に向かって、大きく前進していることを、心から祈って、式辞といたします。

（3 年 3 組の教室から見える桜　4/17 撮影）

教室の机も椅子も、そして小諸高校自慢の景色も皆さんの登校を待ちわびています